

## 山行報告書

受付 No.	156	登山地・ルート	八ヶ岳主稜線
目的	夏山直前トレーニング		
メンバー	大山、松野		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム						
8・7・土	晴れ	浜松＝美濃戸口◎	～赤岳鉱泉	～硫黄岳	～横岳	～赤岳	～行者小屋	～◎＝浜松
		6:29	9:00	10:40	11:48	13:32	14:35	17:10
・	・							

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

### 【美濃戸口～硫黄岳】

高速道路は音羽蒲郡～岡崎間で15kmほどの渋滞で、通過に1時間程かかる。自分たちには普通の週末だが、世間はお盆休み期間に入っていることに気付く。諏訪湖SAで仮眠を取る。駐車場は思ったほど混んではいなかったが、それは美濃戸口だったからで、美濃戸まで上がると満員御礼状態だった。今回は夏山の準備ということもあり、松野さんが新しい装備(アームカバー&ストール)を試すべく準備してきていた。自分も、暑さ対策のアンダーシャツを着る。鉱泉から硫黄岳まで1ピッチ半、全然風がない硫黄岳の稜線は初めてだった。

### 【硫黄岳～赤岳】

稜線も混んでいる。7月とは大違い。横岳のクサリ場では何と、渋滞待ちを経験する。それでも渋滞待ちしながら大同心や小同心を双眼鏡で眺めて楽しむ。横岳山頂は大賑わいで、通過。いつものごとく、石尊稜はどこだ、中山尾根はどこだとやいやい言いながら、途中、立ち止まったりしているうちに時間はどんどん過ぎる。展望荘まで来て休憩しながら、まあ、今回は足慣らしだしね～とか言い訳しながら、時間的にも阿弥陀岳はカットして文三郎道を下ることに決める。

### 【赤岳～美濃戸口】

途中、ガスったり晴れたりしながらの天気だったけれど、赤岳まで来たらガスも上がり、阿弥陀岳の雄姿を見ると行きたい気持ちにもなる。雪のない文三郎道は初めて下ったけれど、ザレザレで、うっかりすると滑りそうで気が抜けなかった。行者から美濃戸へ向かっていると、結構遅い時間になっても登ってくる人が結構いた。さすが八ヶ岳。帰りの温泉はもみの湯。5時を回っていたので300円で入れたが、それなり混んでいた。(お盆だし…)

### 【山スカ】

八ヶ岳は首都圏に近いだけあって、雑誌でしか見たことのない「山スカ」を見ることができた。松野さんによると、最近では山ウェアのコーナーでも結構あるとか。最近行ってなかったので知らなかったが、山から下りた翌日、買い物も兼ねて早速リサーチしてくると、ゼビオにあるのは納得するが、コージツにも揃っていて驚いた。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--